

# 活用調査表

様式6

技術名 <b>土質改良システム</b>	登録 No.
	18D1011

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成24年度
発注機関	長岡地域振興局農林振興部
工事名	潟2期区画整理第6次工事
施工地	長岡市寺泊引岡地内
施工数量	36m <sup>3</sup>

**新技術の概要**  
 建設工事で発生する残土に石灰系の固化材を添加して強度改良し、再度現場で埋戻し土、路体・路床として再利用するために、最適な品質管理の下、均一かつ安全で、施工性の優れた改良土を供給可能とした固定式の土質改良プラントシステム。

**評価結果**

比較した従来技術		砂による置換工法
項目	評価	評価内容
経済性	○	本工事では残土持込がないため、従来技術(新材購入)と比較し16%のコスト削減となった。
工程	□	従来技術と同程度である。
品質出来形	○	従来技術に比べ地震時の液化化現象の抑制や再掘削時の地山の安定が期待できる。
安全性	□	従来技術と同程度である。
施工性	□	従来技術と同程度である。
環境	○	再生資源の有効利用につながる。
その他	石灰系固化剤を使用することで六価クロムによる土壌汚染の心配がない。	

◎: 優れている    ○: やや優れている  
 □: 従来技術と比べて同程度  
 △: やや劣っている    ×: 劣っている

活用上の留意点	地下水位が高い場所の施工、雨水に触れる場所の施工は配慮する必要がある。
---------	-------------------------------------

**新技術問い合わせ先**

会社名	株式会社植木組
所属部課	建設技術センター環境エンジニアリング課
担当者	原 克也
TEL	0257-23-2260



着手前(第7種暗渠工位置)



改良土転圧状況(3層目)



施工完了